

弱みを強みに

第36回(平成22・23年度) 特別研究指定校
三原市立幸崎中学校

研究テーマ

「思考力・表現力」を高める授業の創造 ～ 学習集団の育成を通して ～

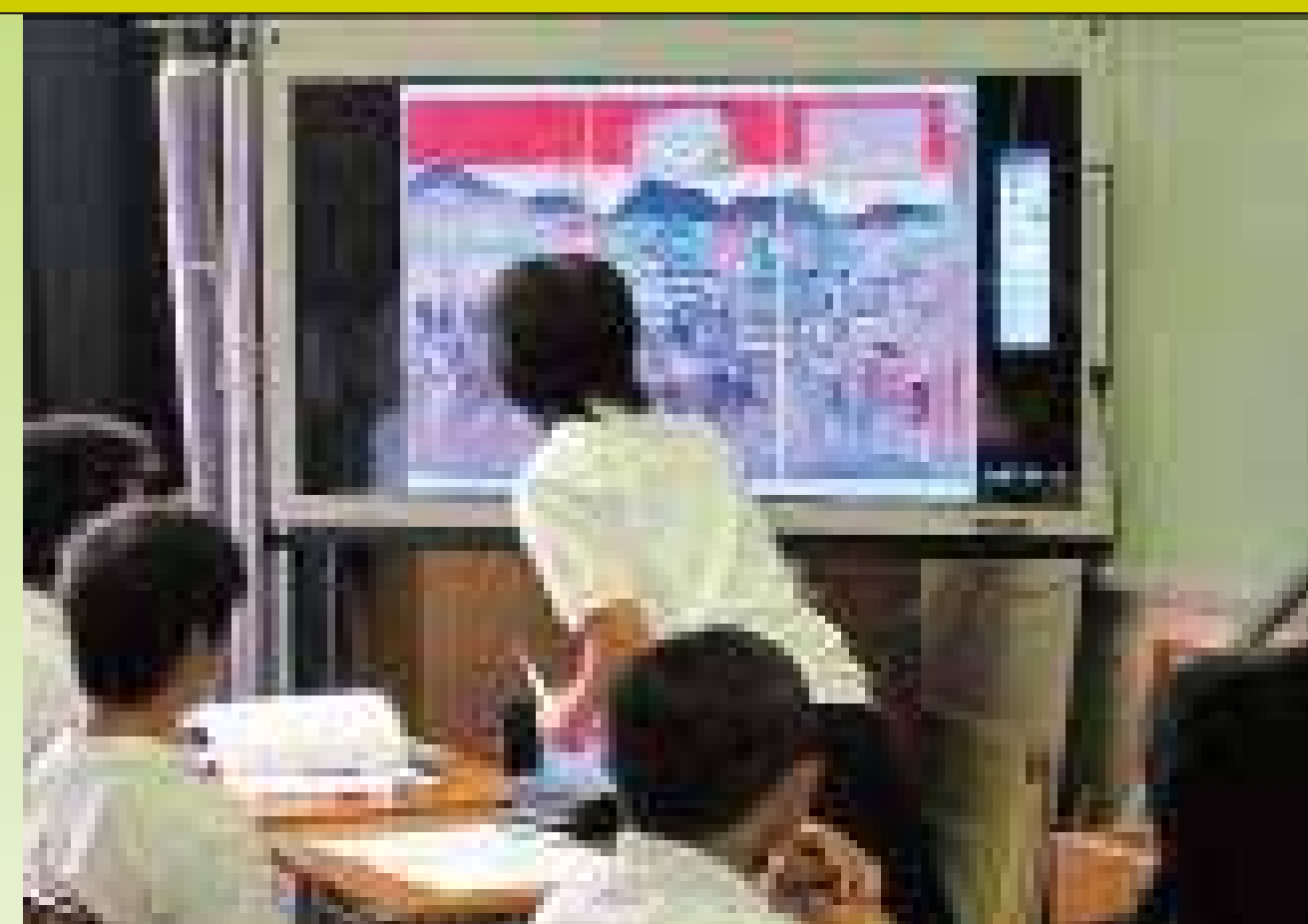


幸崎中学校は各学年1学級、教諭数7名のため、各教科担当は1名ずつの小規模校です。しかし、空き教室を教科型教室として利用することにより、ICTの活用を日常的に行うことができます。

習得型に時間の多くが割かれ



活用型の学力の育成にICTを活用



ICTの本質的効果をわらった活用



【初年度の具体的な取り組み】

思考力、表現力を高める授業の創造

- i) 学習集団を活かした授業
- ii) ICTを活用した授業
- iii) 表現する「場」の設定

学習目的と場面の関係性は？



【研究課題をかなえるために】

思考力、表現力を高める授業の創造

- i) 思考させる時間を増やす
- ii) 答えが画一的には定まらない問題や事象を思考させる
- iii) 個々の生徒によるICT活用

提示活動モデルの

教材の充実

試行錯誤のツ

評価の充実

目標や教材と思考力・判断力・表現力のつながいをどうつけるのか？

思考力・判断力・表現力は手段なのか、目標なのか？

- ・教科の壁を乗り越えよう。
- ・授業研究の連続発展を大切にしよう
- ・自身の授業改善（自分の授業に戻すというアクション）を構築する

友だちと関わること

自分の言葉で伝えること

【言語活動の充実のためのICT活用】

- ・「書く」視点からは、レポート作成、作品制作のための情報収集
- ・「話す」視点では、発表の補助具
- ・試行錯誤できる課題や事象を思考

一方的に情報を受ける学びではなく、相手と関わることを活かす学び

国語科と保健体育科の連携



授業改善への挑戦



構成する力を育む



- ・基礎基本と応用を相互に往復
- ・そのツールとしてICTを活用
- ・思考は前進したり後退したり・・・
- ・それを支えるツールとしてICTを活用
- ・集団の学びの中でさらに思考力・判断力・表現力を高めていた。

【活用型の授業では】

- ① 学び直しのプロセスを伴う
- ② 学び直しにはデジタルが便利
- ③ 教科が異なっても授業研究を連続・発展（他教科からの視点）
- ④ 教師自身も絶えず学び直し

それぞれの得意技以外のものにも新たにチャレンジ、継続していくことが次へのステップ。
個々の研究的なマイブラン

